

現在、富士山頂上へと至る経路(登山道)は、富士宮ルート、御殿場ルート、吉田口・須走口ルート(八合目から上は合流)とありますが、各ルートの頂上標高は、富士宮口が約三七二〇m、御殿場口が約三七〇〇m、吉田口・須走口が約三七二〇mほどになるでしょうか。日本で二番目に高い山が、標高約三二九三mの南アルプス赤石山脈の北岳ですので、富士山のだいたいの八合目程度に到達した時点で、既に日本二高い場所にいることにはなりません。しかし、富士山の標高の最高地点、日本で一番高い約三七七六mの場所を踏みしめるためには、剣ヶ峰までいかななくてはなりません。

この剣ヶ峰には、昭和十二年(一九三六)、その四年前に山頂東安河原に設立されていた中央气象台臨時富士山測候所が移り、富士山頂気象観測所となります。昭和三十九年(一九六四)からはドーム型の富士山レーダーも設置され、台風観測などを行っていましたが、このレーダーによる観測も平成十二年(一九九九)に廃止されます。この気象レーダードームは、同十三年(二〇〇二)に山梨県富士吉田市に降るされ、山頂の気象観測所が無人施設となる同十七年(二〇〇四)に、富士吉田市立富士山レーダードーム館として開館し、現在も展示紹介されています。また、富士山頂気象観測所では、昭和十一年の移設から平成十七年に無人施設となるまで、測候所職員が『カンテラ日誌』と題した貴重な記録を引き継いで来ました。この記録は、無人施設となって以降は東京管区気象台に保管されていたようですが、

職員が私的に記録したもので保管する行政文書に当たらないと、文書整理の一環として廃棄してしまつたようです。この日誌の貴重な内容は、中島博『カンテラ日記』(筑摩書房、一九八五年)の中で、抜粋したものを一部確認できるのみとなり、大変残念な事例です。

さて、話を剣ヶ峰に戻します。剣ヶ峰へ到着した際、国土地理院二等三角点の側に立つ「日本最高峰富士山剣ヶ峰 三七七六米」と刻まれた標柱の前で記念写真を撮られた方は多いのではないのでしょうか。例年夏季の開山期に、山頂登山の証明ともなるこの標柱の前は行列ができます。この標柱ですが、他には銘文がありません。

どうやら建てられたのは、昭和五十三年(一九七八)のようです(鈴木雅史「富士山本宮浅間大社年表(近代・現代編)」参照、『富士山研究』第10巻2号)。しかし、刻まれている碑文を揮毫した方はわかりませんでした。今回、碑文は富士市在住の宮崎家前当主の敏氏によるものであることが、御子孫の方への聞き取り調査で確認できました。宮崎家の先祖は富士山本宮浅間大社の社人で、戦

国時代には既に「和尚」(一ノ宮仕)の「清長」として確認できます。また江戸時代を通じて社人が集住する浅間大社西側の地域で、道者坊(清長坊)を営んでいました。近代以降、富士市に転居されています。

宮崎敏氏は平成二十三年にお亡くなりになっていますが、富士市の米之宮浅間神社宮司、富士宮市の富士祖霊社宮司を勤めていました。また雅号を「青澄」とする書家で、富士市で書道教室を開かれており、こうした関係から敏氏が揮毫した石碑は、平成十二(二〇〇〇)年に米之宮浅間神社入口の鳥居脇左側にも建てられています。



## 世界遺産富士山の 後世継承のために

# WORLD HERITAGE NEWS Letter

世界遺産ニュースレター

世界遺産ニュースレター NEWS Letter

vol.43

発行/静岡県富士山世界遺産センター

〒418-0067 富士宮市宮町5-12 TEL.0544-21-3776 FAX.0544-23-6600  
e-mail mtfuji-wnc@pref.shizuoka.lg.jp  
https://mtfuji-wnc.jp

今夏の富士山開山に向けた取組  
富士山の自然環境を守るためにできること  
富士山世界遺産センターからのお知らせ

研究員コラム  
富士山剣ヶ峰と  
「日本最高峰富士山剣ヶ峰」標柱

vol.  
43  
Spring, 2021

# 今夏の富士山開山に向けた取組

例年であれば、国内外から多くの登山者や観光客の皆様をお迎えしている富士山ですが、昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、通常とは異なる年となりました。

安全管理上の理由等により、開山が見送られるとともに、静岡県側の各五合目までのアクセス道路も閉鎖されたままになり、山麓市町の観光事業者や交通事業者にも多大な影響がありました。

こうしたことから、今年の夏は多くの方が安心して登山を楽しめるよう、昨年9月から、関係市町、山小屋、交通事業者等の関係者と富士登山における新型コロナウイルス感染症対策について、検討を進めてきました。

その結果、①登山者に対し、登山計画、山小屋予約段階で感染症対策に必要な知識を周知、②山にウイルスを持ち込ませないため、山麓等で検温や体調チェックを実施、③入山者数や動向を把握(全体管理と局所的な混雑を防ぐ部分管理を実施)、④山小屋や登山道での三密状態の解消や衛生管理を徹底、⑤感染が疑われる登山者への対応体制を整備の5つを富士山における新型コロナウイルス感染症対策の基本方針として定め、対応することとしました。

具体的には、①では、発熱・症状がある場合の登山の中止や、少人数での登山、感染対策グ

ツズの携行等を含めとする「Withコロナ時代の新しい富士登山マナー」を策定し、富士登山を計画される方への周知を行います。②では、シャトルバス乗換駐車場や登山口などにおいて登山者に対する検温や体調チェックなどスクリーニングを実施します。③では、山小屋の宿泊定員の削減と、事前予約制の徹底や混雑状況の提供により登山者数の平準化を図るとともに、混雑する箇所への安全誘導員の配置などを行います。④では、就寝・食事スペースにおけるパーティションの設置や換気量の増加、設備や備品の消毒の徹底などを内容とする、山小屋におけるコロナ対策ガイドラインを策定するとともに、ガイドラインに基づく対策を行う山小屋への支援を行います。⑤では、関係機関と連携し、発熱や呼吸困難など新型コロナウイルスの感染が疑われる症状を有する登山者が発生した場合の対応手順について、事前に策定します(詳細については、3月末を目処に県公式サイト「世界遺産 富士山とことんガイド」に掲載しますので、そちらをご覧ください)。

コロナ禍における安全・安心な富士登山の実現には、行政や事業者の取組だけでなく、登山者の皆様の協力が不可欠です。今夏、富士山を訪れる際は、新しい登山マナーを充分に確認した上で登山をお楽しみください。

(静岡県富士山世界遺産課)

## 富士山の自然環境を守るためにできること

自然保護課では、富士山周辺で活動するボランティア団体等からなる「ふじさんネットワーク」と協働し、富士山の豊かな自然環境を後世に残すべく、様々な環境保全啓発活動を実施しています。

新型コロナウイルス感染症が流行した令和2年度ですが、富士山の環境保全のため、様々な活動を実施したので、御紹介します。

まず、自然観察会を8月に柿田川で実施しました。日差しが強い日でしたが、30組の家族が参加し、平均水温が15℃である柿田川に入り、ミシマバイカモ等を観察することができました。

次に山麓清掃活動です。毎年多数のボランティアが参加する「ごみ減量大作戦」ですが、今年度は10月に、静岡第一テレビ24時間テレビチャリティ委員会、裾野市及び静岡県の職員で実施しました。19人と少人数ながら240kgものごみを回収しました。

最後に外来植物除去活動です。10月に荒天のため中止した活動の代替として、11月に水ヶ塚公園で行政職員対象の除去講習会を実施しました。県及び裾野市職員が参加し、季節柄、植物の地上部がほとんどないにもかかわらず、7kgもの外来植物を除去しました。

自然保護課ではほかにも、富士山周辺の植生調査や、富士山を望む貴重な草原の維持管理など、様々な活動を実施しています。新年度は新型コロナウイルスが落ち着き、皆さんと一緒に活動ができるよう祈っています。(静岡県自然保護課)



外来植物を探して除去



活動後は富士山を背景に「記念撮影」



柿田川に入って魚類や植物を観察

## 富士山世界遺産センターからのお知らせ

企画展情報 (令和3年4月～令和4年3月) ★有料予定

企画展	テーマ内容	期間
引き出しの中の富士山 — 視(み)て楽しむ、蒐(あつ)めて楽しむ —	絵はがきや登山案内、切手やコインなど引き出しに入るサイズの物に描かれた富士山を紹介します。	4月24日～6月13日
★富士山表口の歴史と信仰 — 浅間大社と興法寺 —	浅間大社と村山興法寺に伝来した資料を中心に、文化財修復を行なった「富士曼荼羅図」(重要文化財)を初公開します。	7月10日～9月12日
★シリーズ江戸文化のなかの富士山Ⅳ 富士山+徳川家康～新発見!徳川家康を描いた「富士三保清見寺図屏風」	新出「富士三保清見寺図屏風」を、その成立の過程と史的意義を明らかにする最新の研究成果とともに初公開します。	10月2日～11月7日
「荒ぶる山」富士火山の脅威を正しく知るために — 火山ハザードマップの改定 —	御嶽山、雲仙岳等の噴火写真や被災物のほか、富士山噴火の痕跡である地質試料を展示し、改訂版ハザードマップを解説します。	11月20日～12月19日
令和3年度 収蔵品展「富士のことほぎ」	新春に相応しい、慶賀性の高い富士山の画賛を中心に、絵画作品や絵はがき、絵図などを展示します。	1月1日～2月6日
第2回 絶景・秀景 富士山世界遺産写真コンテスト入賞作品展	静岡県内から仰ぎ見る「絶景富士山」及び全国に広がる「秀景ふるさと富士」の写真コンテスト入賞作品を一堂に展示します。	2月23日～3月27日

## 富士山世界遺産センターメール会員募集

富士山世界遺産センターで年6回開催の企画展や各種イベント情報等、センターの最新情報をメールマガジンで配信するメール会員を募集しています。

センターの最新情報をタイムリーに入手できるだけでなく、センター研究員による企画展特別解説、ミュージアムショップの割引等、お得な情報を毎月1日に配信しています。ぜひご登録ください。



## 昨夏の富士宮口の様子



通行止めのためバリケードを設置(五合目登山道)



富士山スカイライン(旧料金所ゲート付近)